



両手を上げてゴールする武内さん(青いたすきをしたランナー)



まだ暗いコースを、目印の青いたすきとカラフルな靴で走る武内さん

二人は現地では再会できずに帰国。ただ、奇跡のような一瞬の出会いをMLで報告し、同期生たちと感動を分かち合っている。

武内さんは言う。二人は現地では再会できずに帰国。ただ、奇跡のような一瞬の出会いをMLで報告し、同期生たちと感動を分かち合っている。

ホノルルマラソン 挑戦×応援

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

HPには全国各地の同期生が写真や文章を寄せ、オホーツクの流水や校の名所の写真なども載る。MLには現

同期がつなぐ きずなと友情

深志高29回生

スタートは午前5時。まだ夜は明けてい

ハワイで昨年12月13日(現地時間)に開かれたホノルルマラソンで、松本深志高校(松本市)の同期生ながら一度も会ったことがない50歳の男性二人が、一瞬お互いを認め合った。一人は初めて挑んだフルマラソンを疾走中で、二人はこの男性を応援するためそこにいた。二人をつないだのは、同期生のメリーングリスト(ML)。ランナーだけで2万3000人を超えた大会で出会えた奇跡に、同期生たちも驚き、感激している。(白木洋子)



武内さんを励ます手作りの応援旗を持つ高砂さん

高砂さんの宿泊先と聞いていたホテル前辺りを通り過ぎようとしたとき、暗闇の中から「武内、頑張れーっ」の声が届く。高砂さん

メールで話題

マラソン挑戦

お互い信じて

出会えた奇跡

武内さんは、ホノルルマラソンが開かれるちょうどその時期に、家族3人でハワイ旅行を計画していた。MLでマラソンへの挑戦を知り、「現地で応援するよ」とメールを書き込んで、早速、画用紙で手作りの応援旗を作った。

HPで見た武内さんの顔を目に焼き付けて、出国。マラソン当日は、スタート時刻から滞在するホテル前に立つ

在約70人が参加し、高校時代の思い出や仕事上の悩み、日々の話題など、1日に数千件の書き込みでにぎわっている。そのMLで、武内さんのホノルルマラソン挑戦も話題になっていた。

高砂さんは、ホノルルマラソンが開かれるちょうどその時期に、家族3人でハワイ旅行を計画していた。MLでマラソンへの挑戦を知り、「現地で応援するよ」とメールを書き込んで、早速、画用紙で手作りの応援旗を作った。

高砂さんは、ホノルルマラソンが開かれるちょうどその時期に、家族3人でハワイ旅行を計画していた。MLでマラソンへの挑戦を知り、「現地で応援するよ」とメールを書き込んで、早速、画用紙で手作りの応援旗を作った。